

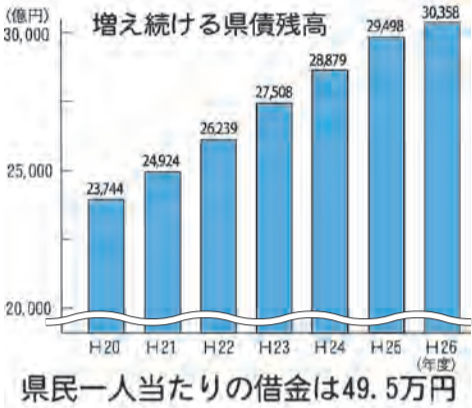
# 入江あき子の

## 県議会報告

Index 2014.3 発行

1 2014年度千葉県新年度予算  
～防災・医療・福祉～  
県民の願いに応えられるか？

2 活動報告  
もっと医療と介護の連携を！  
千葉県の施策 佐倉では



この借金をいったい誰がどのように返していくのか、ここを将来を見据えて真剣に考えるべきです。

H26年度一般会計当初予算の総額は、1兆6千億余円で過去最大規模。県税収入は6817億円(前年度比540億円増)で、消費税率の引き上げや景気回復に伴う大幅な増収を見込んでいます。数字上は収支均衡していますが、県債残高が3兆円を超え、借金が県民の肩に重くのしかかっています(グラフ)。

### 増え続ける借金

東日本大震災・福島第一原発事故から3年が経過しましたが、被災地の復興は進んでいません。自民党政権の復活、「アベノミクス」を始めとする経済政策により、私たち県民の生活や地域経済は果たして良くなったのでしょうか？ 2月県議会(2/19～3/19)で審議されたH26(2014)年度当初予算等から見てきた現状や主な問題点をお伝えします。

### 国も県もコンクリート色

新年度予算の特徴は、安倍政権の経済対策に連動した公共土木事業重視。国の経済対策5.5兆円を受けてのH25年度2月補正予算(うち経済対策280億円の半分以上は道路・橋りょう費)と一体化した15カ月予算となっています。耐震改修など必要な土木工事は急ぎ進めるべきですが、国土強靱化の名目で不要不急の公共事業(ハツ場ダムや圏央道・外環道など165億円強)に多額の予算が充てられています。

また、東北の被災地と同様、千葉県でも資材高騰や労務単価の上昇等による入札不調で事業が行えず、2月補正予算では109事業463億円が次年度に繰り越されています。

県立高校の耐震化など、本来優先すべき事業が進んでいないにもかかわらず、道路族議員は「地元の高規格道路を推進せよ」と大合唱。アベノミクス

## 2014年度当初予算

# 1兆6143億1300万円

# 千葉県新年度予算

## 防災・医療・福祉…

### 県民の願いに応えられるか？

スの「第二の矢」公共事業の拡大で、果たして地域経済は上向くのでしょうか。

### どこまで進んだ？ 防災対策

多くの県民の願いは、防災対策や医療・福祉の充実です。にもかかわらず、新年度予算ではこれらの政策に十分な予算をつけていません。

例えば、市町村が行う消防施設・設備強化のための県補助金は全体でわずか1億6千万円(県は1/6を補助)。消防ポンプ車やはしご車等の数がまだまだ国基準に達していません。併せて、県内の消防職員数は、国基準に対して平均72%(佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部は69%)の状況。県は地域消防力の向上にもっと力を入れるべきです。



2/13 兵庫県広域防災センター備蓄倉庫にて

### 子育て・介護は待ったなし

少子高齢化・人口減少社会への対応もさし迫った課題です。3千人近い保育所待機児童は未だ解消されず、安心して働ける環境は整っていません。

また、昨年度県内の児童虐待件数は3961件で過去最多ですが、子どもの命を守る児童相談所や児童養護施設にかかわる予算措置は乏しく、環境整備は大きく遅れています。

一方、全国2番目のスピードで高齢化が進む千葉県の特別養護老人ホーム(特養)の整備率は全国最下位。入所待機者は1万8千人を超えています。新年度は52億円(400万円×1300床分)の予算しかついていません。サービス付き高齢者向け住宅の整備のための補助制度が新たにスタートしますが、地域で安心して年を重ねられる展望は見えてきません。

### 森田知事、トップの自覚は

多くの課題があるにもかかわらず、いたって楽観的な森田知事。知事のもつぱらの関心は、アジアへのトップセールスやアクアラインマラソン。一昨年にはカジノを含む総合リゾート(IR施設)の視察で台湾・シンガポールを訪問、昨年タイ王国、そして今年1月にはマレーシアへ「Do you know Chiba, Japan?」をキャッチコピーに飛び回っています。

新年度予算では、2020年オリピック・パラリンピックを起爆剤にしようと、IR施設の具体化のための調査に500万円を盛り込みました。H21年から行われた「アクアライン800円化社会実験」は、今年度で終了。県はこの5年間、国との折半で年間15億円支出してきましたが、その使途や会計処理の仕方が不透明です。知事は26年度も引き続き800円にするとし、その県負担が5億円に減ると胸を張っています。しかし、その5億円の根拠も明らかにされていません。税金の使い方として大いに問題です。

昨年11月に重い知的障害のある少年が虐待死、逮捕者も出た県立袖ヶ浦福祉センター問題。トップとして知事が責任の重大さを自覚しているとは思えません。この他にも雇用・地域経済の活性化、環境や農業、放射能対策やエネルギー問題をはじめ、千葉県が独自に力を入れるべき政策課題が山積んでいます。にもかかわらず、森田知事は「国頼み」「国任せ」の姿勢を変えようとしません。

前途多難ですが、4月からの消費税増税を含む血税が適正に使われ、県民の願いに応えるよう、今後ともしっかりとチェックしていきます。



2/6 指定廃棄物一時保管所・手賀沼終末処理場にて

活

動

報

告

◆ストップ！ハツ場ダム



11/17 シンポジウム「ハツ場ダム七つの大罪」にて



12/21 ハツ場ダム住民訴訟9周年報告集会

◆エネルギー！放射能対策



1/29 原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟の省庁交渉



1/31 放射線医学研究所視察

◆印旛沼・利根川の水循環健全化



11/25 印旛沼漁協に聞き取り

◆医療



1/20 内水面水産研究所視察



11/7 国立循環器病研究センター視察



2/24 東千葉メディカルセンター視察

# 千葉県の施策 佐倉では



## ● 舟戸大橋架け替え事業 いよいよスタート!

迂回路となる仮橋の設置がH26年度内に完了する予定。架け替え後は、幅員が11m(車道2車線、片側歩道3.5m)に広がり、安全性が向上します。

## ● 介護老人保健施設が11/1オープン予定

H26年度県からの補助金6千万円を受け、「葵の園・佐倉南」(定員100名)が佐倉市松ヶ丘に開設される見通し。

## ● 志津公民館複合施設に太陽光発電・蓄電設備を設置

県の再生可能エネルギー基金事業(約5000万円)により、H27年度に設置予定。

## ● (仮称)千葉県ヤード設置適正化条例

県内には500カ所近くのヤードがあり、そのうちの7割が印旛地域に集中しています。中には盗難自動車解体・輸出するなど犯罪の温床ともなっている不法ヤードがあります。県は、現在ヤード設置の届出を義務化し、生活環境の安全確保や、不法行為を未然に防止するための条例案を検討中です。

現在、国会では「地域医療・介護総合推進法案」を審議中。いわゆる社会保障改革のシナリオに沿って、国は医療・介護費の削減を進めようとしています。とはいえ、高齢化が猛

住み慣れた地域で暮らし続けるために



# もっと医療と介護の連携を!

②在宅医療連携拠点事業  
医師、看護師、介護士等が連携して行う地域包括ケアを実現

①24時間対応訪問看護・介護サービス支援事業  
県内では、すでに10市16事業所が実施(佐倉市内では、生活クラブ風の村定期巡回ステーションなど)。将来的にも必要なサービスですが、約300名の利用者に留まっています。そこで県が立ち上げから2年以内の事業所に補助金を出し、26年度にさらに7市10事業所を増やしていきたいとのこと。

③医師修学資金貸付制度「ふるさと医師支援コース」新設  
大学を特定せず、県外医学部に学んでいる県内出身者10名に6年間貸し付けます(月額15万円)。卒業後、県内の医療機関で9年間働くこと返還が免除されます。これまでの制度が拡充され、将来315名の地域医療を担うドクターが誕生します。医師数が全国ワースト3位の千葉県にとって、医師の確保・定着策は最優先課題です。

①24時間対応訪問看護・介護サービス支援事業  
千葉県の新年度予算では、在宅医療の充実に向けて以下の新規事業が盛り込まれました。  
リードで進むなか、在宅医療・介護の充実が緊急の課題であり、私も健康福祉常任委員会で発言・提案してきました。  
昨年、柏市豊四季台団地で展開されているモデル事業を視察してきました。ぜひ佐倉市も手を挙げてほしいと思います。

現するため、市町村主体で進める事業。25年度は市川、松戸、柏市でモデル事業が行われ、26年度は新たに募集を呼びかけています。

### Akiko's PROFILE

## 入江あき子 プロフィール

- 1965年 仙台市生まれ
- 1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業
- 2003~2011年 佐倉市議会議員
- 2011年4月 千葉県議会議員1期目 会派:市民ネット・社民・無所属  
・健康福祉常任委員会委員 / 千葉県環境審議会委員  
・千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属  
・千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属  
・原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟所属  
・ハツ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長  
・利根川流域市民委員会幹事